書道研究月刊誌『墨州』　第四九巻　第六号　通刊五八二号
令和八年九月一日　書道研究 墨州院 発行

墨州

2026
九月号
No. 582



紅烟玄林（奈良・玄林堂）　昭和55年造（46年枯）
寸法３丁型（縦9.8糎×横3.5糎×厚1.1糎×重52瓦）

奈良・玄林堂は、墨屋又七郎により、1717年に創められた。以来、伝統的な製墨法で数々の銘品を発表して来た。代表墨としては菜種油煙の九十九壽が余りにも著名である。また、令和７年７月号掲載の壽山墨（壽山福海）は、超高級品で同社の最高品質墨である。

紅烟・菜種油煙「玄林」は、玄林堂が最も脂の乗っている昭和50年代前後、職人の持てる最高の技術と最高級の原料で製墨されたものである。銘に墨匠名をそのまま冠していることからも、力の入れ具合や、品質への自信の表れを窺うことが出来る。この墨は、その昭和55年製で、今が最も使い頃であろう。

菜種油煙を主原料に紅烟（山形産の本紅から採煙したもの）を加えたもので、立体的な美しい赤茶系の滲み、細やかな粒子で墨の伸びに優れる最高級品の内の一つである。既に廃業して久しいこともあり、オークションでは当時の価格の５～３倍が相場で、時には１桁多い場合もある。

※和墨の寸法単位「丁型」の表記は、重量を基準としたもので、厳密には１丁型が15ｇであるが、長さからおおよその丁型（重さ）を逆算して表記する場合もある。枯墨や古墨は、経年と共に重量が軽くなり、その場合には便利な割出法である。また、メーカーでも多少の差異がある。

書壇の最高権威・最大規模・書を志す者の登竜門

第77回毎日書道展

毎日書道展は、毎年約3万点の出品数を誇る日本最大の書道展である。

書道研究墨州院からは、審査会員で今展で運営委員・漢Ⅰ審査副部長を務める菊池春苔の他、審査会員の菊池苔雲、役員となる会員2名をはじめ、墨州院会員の作品100点を出品。公募では、最高賞となる毎日賞・佳作賞2名・U23新鋭賞2名・奨励賞2名の他、多数の入選者を輩出。特にU23においては、7年連続で出品数・入賞率ともに全国1位を獲得した。







会　友
兒玉春苑（漢Ⅱ）



会　友
菊池栖雲（漢Ⅱ）



会　友
金崎峰萃（漢Ⅱ）



会　友
及川汀雲（漢Ⅱ）



会　友
小松原朴象（漢Ⅱ）



会　友
佐藤翠嶺（漢Ⅱ）



会　友
佐藤扇凰（漢Ⅱ）



会　友
佐藤苔翠（漢Ⅱ）



会　友
鈴木紫雲（漢Ⅱ）



会　友
髙橋杏雲（漢Ⅱ）



会　友
播摩蘭粧（漢Ⅱ）



会　友
松尾蓮佳（漢Ⅱ）

漢字部規定

初心～中級は、この手本に忠実なものを求める方が学び易い（課題Aは原寸大赤刷手本綴込）。
上級は、この書風に捉われず、古意を採り入れた自由な表現を求めること。

笛聲疎雨霽　草色夕陽殘　虎踞山河固　不如牛背安（耕牧圖／賴支峯）

しとしと降っていた雨が上がり、笛の音が聞こえてくる。夕陽に照らされた草原の草が鮮やかである。虎がうずくまるように険しい地形の山河は、防備が固いというが、それも牛の背に乗ってのんびりしている安心感には及ばない。

課題A

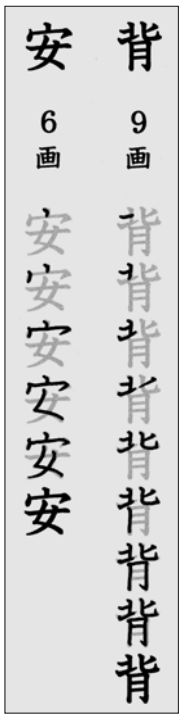


（課題A・B・C／行書体／行草書体）主宰　菊池春苔 書

図　解



●：等間隔／○：充分空間／㊟：筆法注意



【古典に学ぶ】

歴史的に評価の定まった先人の筆跡を「古典」といい、これを倣うことを「臨書」という。古典を鑑賞・臨書することは、書学習の基本です。【課題A】は、主に左の二つの古典を採り入れています。


孔子廟堂碑（虞世南）


九成宮醴泉銘（欧陽詢）

課題B（三段～五段）



課題C（五段～）



行書体



行草書体



▼頼　支峯（一八二三～一八八九）…幕末から明治時代の儒学者。頼山陽の第二子。山陽の跡を継ぎ家塾を開いた。

【古典の反映】

古意を採り入れた表現を求めるには、様々な古典の鑑賞・臨書が大切です。また、左に掲載した以外にも、数多くの古典に触れることで、幅広い表現法が身に付きます。


牛橛造像記（？）


鄭羲下碑（鄭道昭）


雁塔聖教序（褚遂良）


建中告身帖（顔真卿）


蘭亭序（王羲之）


舎舟五律（倪元璐）

かな部規定

初心は、かな基本編（別冊テキスト）を経てから散らし書きへ進むこと。中級までは、この手本（巻末に原寸大赤刷手本綴込）に忠実なものを求める方が学び易い。上級は、この書風に捉われず自由な表現を求めること。

散らし書き（源氏物語）

秋霧に　立ちをくれぬと　聞きしより　しぐるゝ空も　いかゞとぞ思ふ（朝顔）

秋霧の立つ頃に、はかなく先立たれたとお聞きしましてから、時雨の空模様を見るにつけ、どのようなお気持ちかと推察致しております。

客員教授　福島一浩　書



▼源氏物語（平安時代中期）…紫式部が生涯唯一残したものである。内容は、主人公・光源氏が政権復帰を目指す栄華と陰りを描いた物語。



福島一浩（昭和三十年一月一日生／東京都出身）

◆主な役職・略歴◆

・日展会友
・読売書法会理事
・(公社)全日本書道教育協会理事長
・個展複数回開催（銀座）

～美学と流儀～ 一浩の眼



巻九「葵」の中より一首選びました。前回と似た構成ですが、右側集団がスタートです。広い空間を面として、各文字群、各文字にも求めます。さらに墨量の調節によるグラデーション、今回は濃淡よりも潤渇の変化を第一とした表現です。かな古筆では『高野切第一種』において、この美は求められ、ただ渇筆部は線を細くしているのが『高野切第一種』、今回の課題は渇筆部にも厚みのある線を使用。これだけでも表現に大きな差は出てくるもの。空間と墨の潤渇を味わってください。

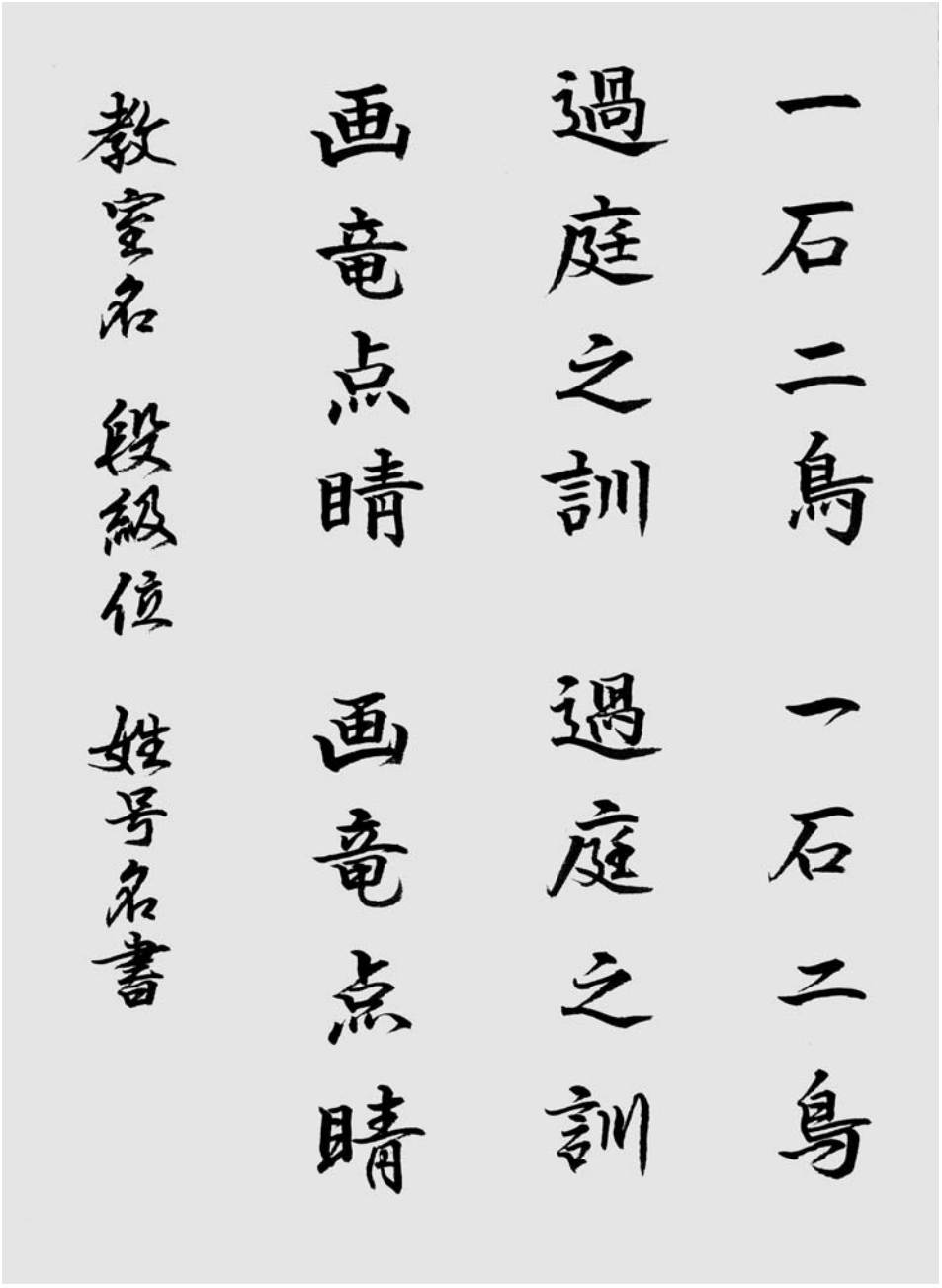
■第一行…広い空間が字中のどこにあるかを確認。墨量は少し控え目にしています。■第二行…図解の点線は行のエッヂラインで行間への出入りが見られます。このラインの反対側のエッヂラインは出入りがほとんどないのです。■第三行…「し与利」はシンプルで明るさ。「新」で墨入れ、やや太目の線、「空毛」では線は細くなってゆく。■第四行…字幅の狭い行とし、「おも布」での字間〇印が極めて大切な役割を担います。紙面全体に影響を与えます。

細字部規定

実用楷書にも活かせる、端正な造形美で表現している。
上級は、この書風に捉われず、自由な表現・書体を試みたい。

一石二鳥（いっせきにちょう）　一つの行為で二つの利益を得ること。
過庭之訓（かていのおしえ）　親から受ける教えや家庭での教育のこと。
画竜点睛（がりょうてんせい）　物事を完全に仕上げるための最後の大切な仕上げ。肝心な要点。

楷書体・行書体

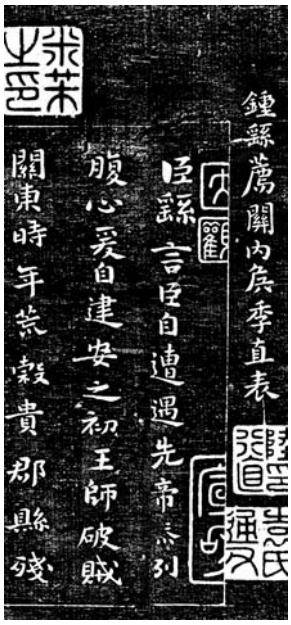


錬士　菊池苔鳳書

▼四字熟語…漢字四文字で構成される言葉で、一般に慣用句的に用いられる言葉。

古典の反映

古意を採り入れた表現を求めるには、様々な古典の鑑賞・臨書が大切です。また、左に掲載した以外にも、数多くの古典に触れることで、幅広い表現法が身に付きます。



薦季直表（鍾繇）



真草千字文（智永）



美人墓誌銘

條幅部

芙蓉零落秋池雨　楊柳蕭疎曉岸風（崔致遠）

池に秋雨降って蓮花散り落ち、岸辺に暁風吹いて楊柳は物さびた姿である。

楷書体



主宰　菊池春苔書

行書体



錬士　菊池苔鳳書

同課題であれば、掲載課題以外にも、行書体・篆書体なども可。
上級は、創意工夫を試みたい。

行草書体



主宰　菊池春苔書

隷書体



錬士　菊池苔雲書

▼崔致遠（八五七～？）…新羅末期の文人・官僚・学者。唐で文才を発揮、朝鮮半島における「漢文学の祖」として後世に絶大な影響を及ぼした。

挑戦

條幅部は筆法や空間美（空間処理）の研究につながります。段級位問わず積極的に挑戦することで、他部門との相乗効果による実力向上を図ります。

漢仮交文書部

この部門は、線質美・墨色美・構成美・余白美などの豊かな書表現を求めるため、様々な文字遣い・書体を用います。可読性の有無に関わらず、装飾性や書への親しみや娯しみを味わいましょう。

半紙



コスモス

主宰　菊池春苔書

広がる表現法









作品の表現は、文房四宝（筆墨硯紙）の選び方によって、多くの変化をつけることが出来ます。

①筆…柔毫・剛毫

②墨…色・濃・淡・潤・渇

③紙…吸墨性あり（滲み易い）　吸墨性なし（滲みにくい）

①～③のそれぞれの組み合わせ・調和によって作品のイメージも変わります。また、構成の工夫も表現の一つです。

▼掲載の手本に拘らず、自由な表現を娯しみましょう。

半折

秋風や　折れしパラソル　夢の跡（北川吉史）



主宰　菊池春苔書

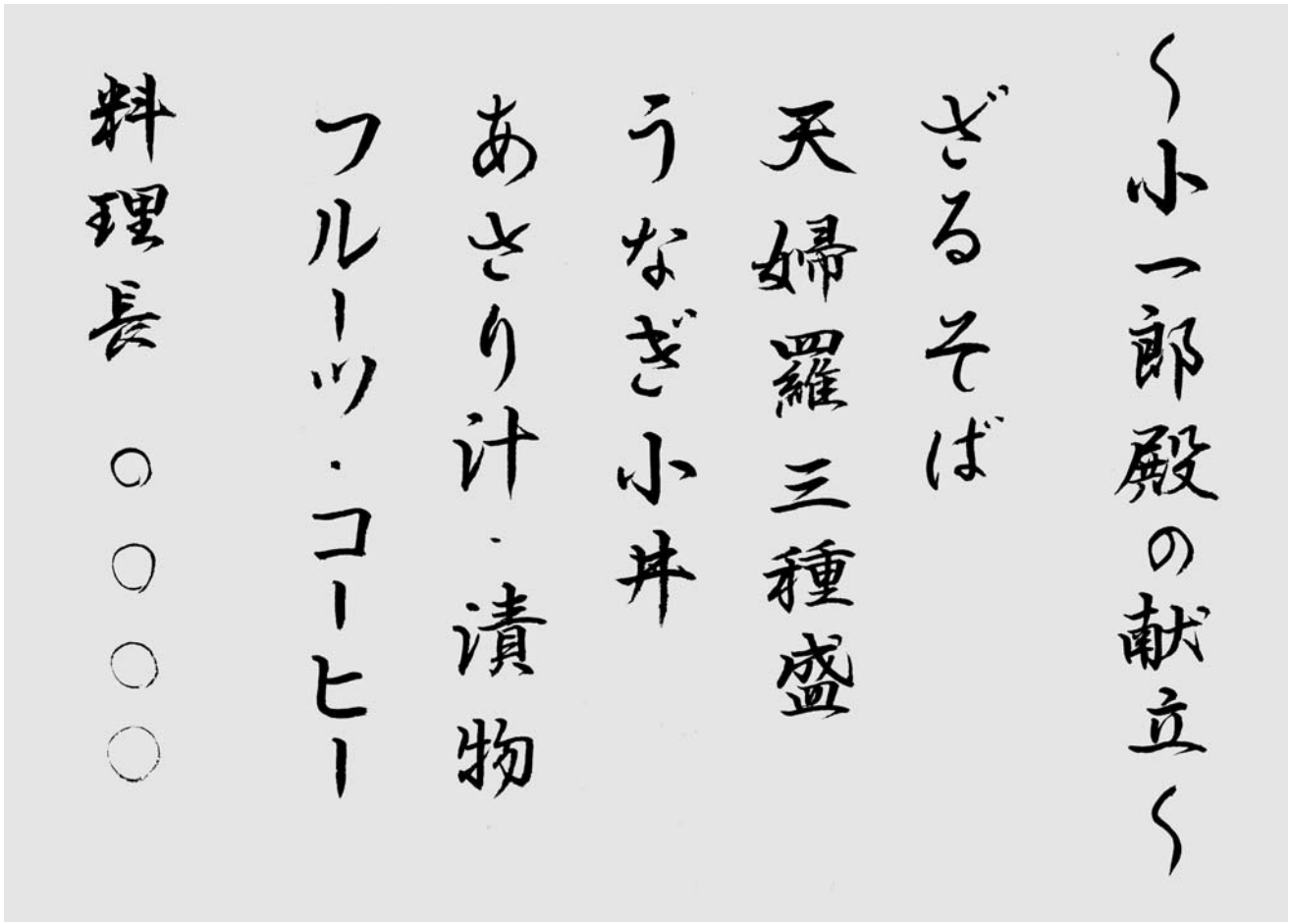
▼北川吉史…文筆家。現代感覚的で端的な口語遣いに、文語表現も織り交ぜた詩情を、時には直截的にあるいは間接的に詠む。漢仮交文書作品の表現に最適な文字遣いである。

日々の生活に寄り添った書

硬筆 毛筆

実用書部

■毛筆の場合は細字用半紙、硬筆の場合はＡ４コピー用紙を使用すること。
■設定シチュエーションに入り込んで書く。
■「○○○○」には姓号名を記入すること。
■色彩墨・色柄紙、挿絵・柄入れなどをして娯しんでもよい。
■審査は、文字ばかりではなく、見映え等の完成度も鑑みる。



錬士　菊池苔鳳書

実用書に活かす



結切：凶事全般



蝶結：一般慶事


結切：結婚祝

◎紙面が傷つく筆記具（ボールペン等）は、使用しない。
◎水引は、繰り返し起きてほしくない事柄の場合、結切りを使用。（例…結婚・凶事）
寸志…慶事に使用。志……凶事に使用。（淡墨または青墨を使用）

美文字クリニック

下記のポイントに意識を置くことで、見やすく綺麗な文字に近づきます。

①文字同士のサイズ感
②線と線の間隔・長短・太細
③文字内空間（疎密）
④中心・重心のバランス
⑤偏旁の大小

シチュエーション

シチュエーションに入り込むことで、より娯しめます。

今回のシチュエーション設定
料理長

主宰作品研究

書のナビゲーション



「彩錦（さいきん）」

錦の織物のような色鮮やかな様子。紅葉のたとえ。

このコーナーは、書ムリエの作品披歴が目的ではなく、筆墨硯紙の知識や情報を紹介し、用具・用材への意識を持ちながら揮毫することの一助となればと願っています。
用具・用材の相談や質問を受け付けます。

書ムリエ

菊池春苔（明彦）（きくちしゅんたいあきひこ）

◆師　匠◆
作　品…明石春浦
〃　…金子卓義
古　典…菊池海雲
篆刻・刻字…千田得所

◆主な役職◆
毎日書道展漢字部審査会員
第77回展漢字部運営委員
漢字部Ⅰ類審査副部長
東北仙台展常任理事・副実行委員長
一瀾書道会副理事長・事務局長
気仙書友会会長・審査委員長
サンリア展審査委員長

文房四宝

■ 筆 ：羊毛ムジナ（神技堂） @4,400

■ 墨 ：書法一品（墨運堂） @935　2倍淡

■ 紙 ：台湾風漉佳鳳（墨州堂） 半紙100枚 @2,500

■ 印 ：後藤大峰（3分変型）

■印泥：石泉綺麗　1両装　@8,800

ナビゲー書ン

4月12日(日)15時。稽古人空いた折に。昨昼から風が酷い。被害はないが、安普請の家が飛びそうである。

毎週出張続きである。心身共に、いや、その前に懐具合が末期である。それでもやっと、今月末迄は在宅である。しかし、毎日書道展の締切も迫って来ている。物理的に自己の作品の揮毫時間がない状態で焦りつつある。特に今回展は要職を2つも抱えたことで、立場上、それなりのものが求められる。と、何事にも真摯に向き合う真面目な筆者は、強迫観念に捉われている。つまり、焦っている。

彩錦。どちらにも偏がある文字で、このような小品扁額の場合、どうしても紙面に対する字幅がキツくなる。印のみ打つことを念頭にし、紙面を目一杯活かすことにした。「彩」の彡、「錦」の巾を見せ場に、渇筆で長く表現してみた。それによって、紙面下部が実際のスペースより明るく感ずる。今こうして眺めると、もう少し肉感的に穏やかにシットリ感が欲しかったかと思う。やはり「急いては事をし損ずる」という教訓を改め感じた次第である。

赤間硯は、山口県宇部市や下関市周辺が産地である。宮城県石巻市の雄勝硯と並び、国指定伝統的工芸品である。国指定の伝統的工芸品はこの2件のみである。

赤間硯の名称は、下関の古称である赤間関に由来し、赤間関・硯が赤間石・硯となった。硯材は、6000万年以上前の白亜紀の海底火山により噴出した火山灰などが変成変質作用で形成された輝緑凝灰岩である。鉱物学的には、中国・端渓硯や、和硯の最高峰、岩手県の紫雲石硯と同様である。

また、下関市で産出される陸上由来の緻密な泥が堆積変成した赤色頁岩や黒色頁岩も硯になりうるのではないか、硯として流通したのではないかと調べたが、頁岩とはいえ、既に限りなく粘板岩化してしまったことで、余りにも剥離性が高く、硬度にも劣るようになり、鋒鋩も立ち難かったのかも知れない。また、それらが採石される山はお留山に指定され、立ち入りを禁止されていたことも影響があると考えられる。結局、最終的には試作以外の製硯や、流通した形跡は見つからなかった。但し、現在の公的文書では赤間石硯の硯材は、赤色頁岩と明記されている。しかし、これは下関で採石される赤色頁岩を指すのではなく、呼び方の差や分類表現の差から生じたもので、あくまで宇部市で採石される輝緑凝灰岩を硯材としたものが、赤間石硯として認められる。

起源は800年以上前に遡る。鎌倉幕府の源頼朝が、1191年に神奈川県の鶴岡八幡宮へ奉納した御物の中に赤間石で製硯されたという硯が記録にあることから、少なくとも鎌倉時代初期の12世紀末頃には製硯されていたと考えてよいであろう。

赤間硯の硯材は5種に分けられる。最も著名で眼にする一般的なものは、紫雲石と呼ばれる茶色や小豆色で、斑紋や線條の入らないものである。この石の特徴は、温潤で粘りを感じ、鋒鋩は強くはないが非常に細微で均一感のある墨が得られることから、細字や実用書に向く。

赤間石の採石は屈指の困難さと過酷さで知られる。坑洞の最深は40mにも達し、その傾斜も20度に近く、雨水や地下水による浸水があり、命に係わる作業である。このため、硯の需要が高かった昭和中期から後期にかけて、岩手県の紫雲石硯の硯材を用い製硯していたこともあった。この採石の困難さに加え、経済的に成り立たないことが最たる原因で、他の和硯同様、後継者不足である。今現在で墨硯齋が把握している硯匠は3名である。最盛期の明治時代には300名もの職人がいたという記録もある。

墨硯齋
～洗硯游筆～
（＃26）山口・赤間硯①



赤間硯の生産地（山口県宇部市西方倉岩滝／赤間硯の里）

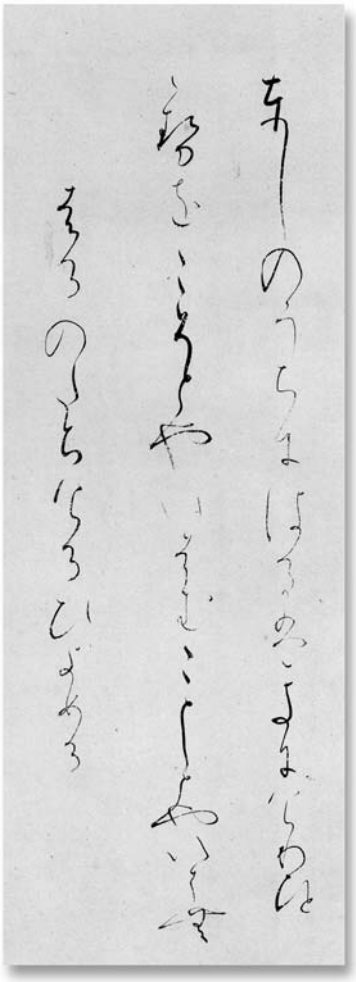


古典臨書部

古典臨書は、技術を磨き、表現力・想像力を豊かにし、鑑賞眼を養うことができる、不可欠の書学習です。本誌の掲載課題に限らず、様々な古典・古筆に広く眼を向けて、臨書することを推奨します。

課題B

…源兼行『高野切第一種』



釈文

としのうちにはるはきにけりひと
ゝせをこぞとやいはむことしとやいはむ
はるのたちけるひよめる



高野山

高野切は、『古今和歌集』の勅撰より150年後に書写されたもので、現存最古の写本で、高野山に伝来したことからこの名が付いた。切り離され、現在は一部が断簡で残っている。筆者は紀貫之と伝えられていたが、実際は100年程後に３人の能書家が分担して書写（寄合書）したと推定され、その書風から第一種・第二種・第三種と分類される。第二種は、漢字の用筆を思わせる力強い線質とダイナミックな連綿線が特徴的である。源兼行は、平安時代中期「宮廷第一」と称えられる実力派の初夏である。

課題C

…趙之謙『楷書氾勝之書八屏』



釈文

…候地氣始通。椓橛木
長尺二寸。埋尺見其。

※太字は臨書参考例箇所。

臨書参考例（半紙）

錬士　菊池苔雲臨





趙之謙（1829～1884）

趙之謙は、中国・清時代の書家・画家・篆刻家。幼少時より書・画・篆刻に志があり、書は顔真卿、篆刻は浙派の印などを学んだ。やがて、碑帖の研究に耽り、逆入平出による、個性の強い新しい楷法を拓いた。篆刻は、秦・漢の古法から離れ、鄧石如の刀法を採り入れ、空前の作風を展開した。画は、陳白陽・李復堂に迫ると評され、清朝末期における書・画・篆刻の三絶の大家と称される。

この『楷書氾勝之書八屏』と、『隷書張衡霊憲四屏』は、何れも鄧石如・包世臣によって唱えられた逆入平出法に、円転・肉感を加えた独特の新しい書風で、北魏書を感じさせる。共に楷書・隷書の筆意を採り入れた、趙之謙の代表傑作である。

学生部規定（古典臨書部Ｄ）

学生部は、図版中の任意の連続した二文字以上を半紙に臨むこと。
一般部は、「古典臨書部課題Ｄ」として半紙だけでなく、條幅にも挑戦すること。

課題　…王羲之（おうぎし）『蘭亭序（らんていじょ）』



（半折）

釈文

…盛一觴一詠亦足以暢叙幽情。是日也天朗氣清恵風和暢。仰…



蘭亭曲水址



王 羲 之

王羲之（307？～365？）

東晋（とうしん）の書家。中国の名門貴族の出で、青壮年期には政治家としても知られる。当時隷書体が主流であったが、楷書（小楷）・行書・草書の三書体を芸術的に完成させ、新しい書体が人々に広がるきっかけとなり、古今第一の書家として名高い。その書は唐の太宗（たいそう）に酷愛され、以来「書聖（しょせい）」と仰がれ、日本の書にも多大な影響を与えた。

主な代表作に、楷書『樂毅論（がっきろん）』、行書『蘭亭序』、草書『十七帖（じゅうしちじょう）』『喪乱帖（そうらんじょう）』、書跡から集字した『集王聖教序（しゅうおうしょうぎょうじょ）』などがある。

蘭亭序（353）

永和９年、王羲之は会稽山（かいけいざん）の麓（ふもと）の蘭亭に、当時の名士41人を招いて禊（みそぎ）の行事を行った。蘭亭序は、その後の雅会（がかい）、曲水（きょくすい）の宴で成った詩集の序文として、王羲之が興に乗じて書いたもので、書道史上屈指の劇跡である。

王羲之は、蘭亭序の清書を何度も試みたが、この草稿（そうこう）（下書き）に勝るものはできなかった。上から書き直したり、黒く塗りつぶしたりしているのは、その草稿（下書き）のためである。

臨書参考例

錬士　菊池苔雲臨



（半紙）

臨書習作例



錬士　中島州麗臨

他の古典と比較!!



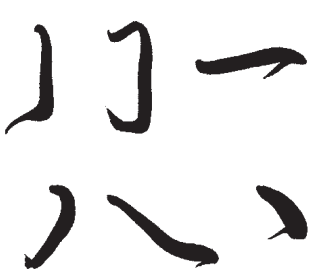
蘭亭序



風信帖

空海は、中国・唐に渡り、王羲之の書を学び、独自の世界が開花した傑作の『風信帖』を書いた。

筆法特徴



教育部毛筆規定

教育部課題の学年配当漢字・読み・字体・総画数・筆順は、文部科学省学習指導要領に準拠しているが、常識的な書写体を用いる場合がある。

中学二・三年（中学二年は楷書可）



錬士 佐藤苔翠 書

引（4画）

中学一年



錬士 佐藤扇凰 書

長（8画）

小学六年



主宰 菊池春苔 書

星（9画）

小学五年



錬士 佐々木扇翠 書

晴（12画）

▼手本揮毫委嘱者▼（2026年9月現在）

《錬　士》	《範　士》	《教　士》
菊池栖雲／眞壁紅蓮／菊池苔雲／菊池苔鳳／佐藤扇凰 兒玉春苑／松尾蓮佳／佐藤翠嶺／中島州麗／及川汀雲 小松原朴象／佐藤苔翠／鈴木紫雲／長澤佳玉／濱田春怜 佐々木扇翠／荒木玉扇	岡安祥蓮／高橋由佳	千條友菜／中山ありさ／松田由希菜 廣瀬苺妃／菊池美里／佐々木夢琉 伊藤心優／吉田優里

小学四年



錬士　小松原朴象（こまつばらぼくしょう）書

見（7画）　見見見見見見見

小学三年



錬士　兒玉春苑（こだましゅんえん）書

大（3画）　大大大

小学二年



教士　菊池美里（きくちみさと）書

ダ（5画）　ダダダダダ

小学一年・幼年



範士　岡安祥蓮（おかやすしょうれん）書

り（2画）　りり

書指導法特設科

書道研究月刊誌『墨州』の教育部課題の手本揮毫者は、手本揮毫法や指導理論、古典臨書など、指導者として必要なことを月１回研究しています。
また、書道研究墨州院認定指導者には、この「書指導法特設科」を受講する義務が課せられています。
▼資格は下記の通り。１コマ２単位。（　）は資格取得条件段位。
教士…24単位（三段）／範士…72単位（五段）／錬士…96単位（八段）



次号予告

中学二・三年…書の発表／中学一年…大豊作だ／小学六年…里に秋／小学五年…おち葉／小学四年…しき者／小学三年…田んぼ／小学二年…ピアノ／小学一年・幼年…うろこ

◎教育部毛筆規定課題手本の揮毫は、墨州院認定指導者および、『書指導法特設科』修了者《錬士・範士・教士》に委嘱しています。

ペン字部・教育部硬筆規定

教育部課題の学年配当漢字・読み・字体・総画数・筆順は、文部科学省学習指導要領に準拠しているが、常識的な書写体を用いる場合がある。

硬筆学習のすすめ

① 正しい字形を学ぶため、「写し書き」をするべし!!

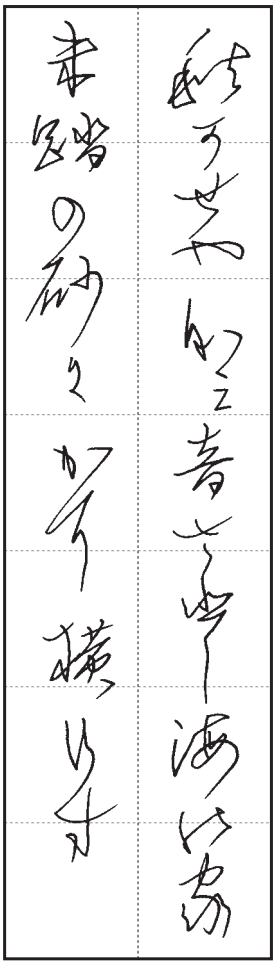
② 筆順に注意して、手本をよく見ながら書くべし!!

※①・②を何度も繰り返すことが大切です。
※硬筆用の下敷を使用すると、書き易くなります。
※一般部・中学生は万年筆を、教育部は必ず墨州院指定ペンを使用すること。



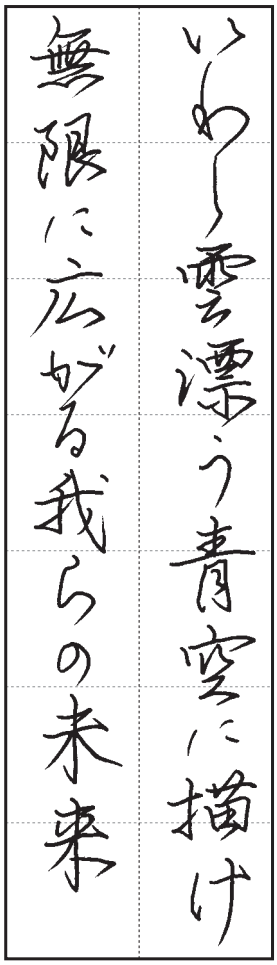
一般部（課題B）…主宰　菊池春苔（きくちしゅんたい）書／一般部（課題A）・教育部…錬士　菊池苔鳳（きくちたいほう）書

一般（課題B）



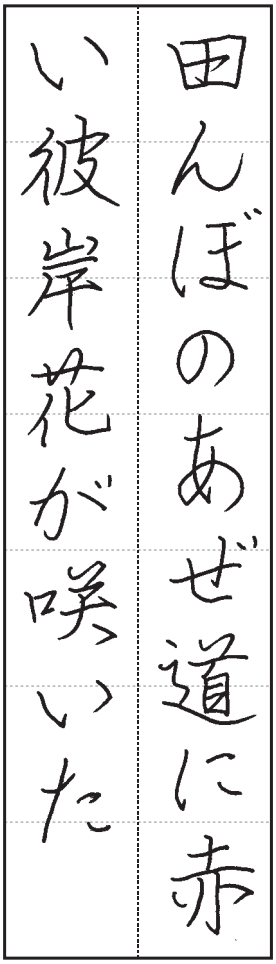
秋風や　那三（可せ）　波音さびし　悲　海の家　能　未踏の砂に　尓　蟹横行す（か耳）（北川吉史（きたがわよしふみ））

一般（課題A）



いわし雲漂う青空に描け
無限に広がる我らの未来

中学2・3年



彼　8画

中学1年



焼　12画

小学６年

満月の夜に白い
ウサギがはねる

満 12画


小学５年

お月さまにおね
がいする秋の夜

秋 9画

小学４年

あかいトンボが
夕やけ空をとぶ

空 8画

小学３年

きいろのコスモ
スの花がさいた

花 7画

小学２年

大きなブドウや
クリがおいしい

字 3画 ウ

小学１年・幼年

まんまるおつき
さまこんばんは

於 お 3画

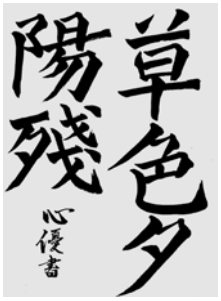


漢字部《規定》

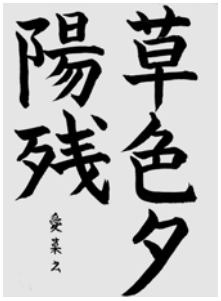
▽佐々木扇翠（小友・八段）やや貧弱気味である。長い横画の逆入出法を何とか得たい。



▽松村麻美（矢巾・四段）落款は拙いが、本文はこの階級前後では白眉。



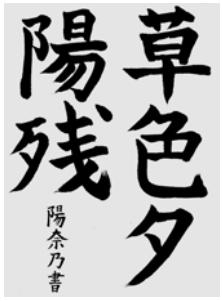
▽伊藤心優（中央・三段）造像風の線画を得そうである。もう少し線が太くとも良いか。



▽千葉愛菜美（長谷・準初段）本文マズマズ。落款「書」だけが草書は合わない。全体に行書で入れたい。



▽臼井碧海（小友・準2級）やや扁平気味ではあるが、その分だけ座りが良かった。今後はスマートさも意識したい。



▽國分陽奈乃（水夏・6級）丁寧な書き振りであるが、やや四角四面になった。筆画による大小を意識すれば更に良かった。

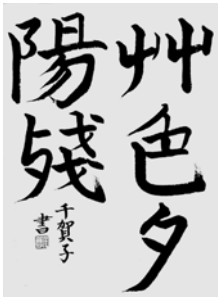


▽村上芳春（綾里・準6級）紙面を圧する堂々とした出来。基本筆法も特に拙くはなく得そうである。



▽富岡詩織（駒込・準8級）この階級では申し分なし。この調子で不断の努力を期待したい。

シニア漢字部《規定》

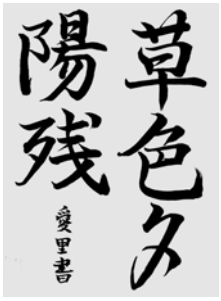


▽細田千賀子（上山・八段）「陽」「殘」拙かったものの他は無難に熟した。落款も正書でキチンと入れた。

漢字部《行書体》



▽松田穂乃実（高田・準初段）基本的には得ていて、特に拙い所もない。落款を何とかしたい。

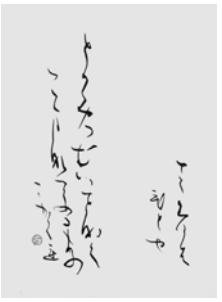


▽菊池愛里（横浜・準2級）落款は稚拙だが、他はこの階級以上の出来。



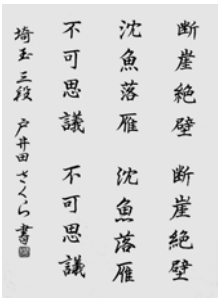
漢字部《行草書体》

▽菊池美里（中央・準五段）紙のせいで線も硬く感ずるが、斬れのある線が強く出ている。印が欲しい。



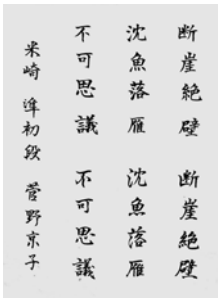
かな部《規定》

▽及川汀雲（中央・七段）能く書けていますが、墨量・線の太細が均一過ぎたのは残念でした。

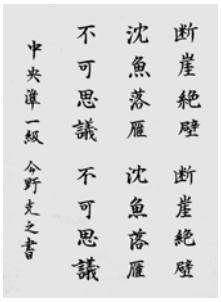


細字部《規定》

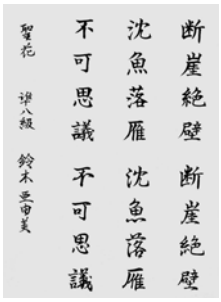
▽戸井田さくら（埼玉・三段）密度感にやや欠けますが、実用書と捉えた場合、この階級では申し分ありません。



▽菅野京子（米崎・準初段）きちんと収めました。楷書が余りに直線で行書は曲線が多用され極端でした。



▽今野克之（中央・準1級）この階級ではほぼ申し分のない出来です。そろそろ上質の用紙に替え、磨墨をしましょう。



▽鈴木亜由美（望花・準8級）こ造形性・基本筆法共に能く熟されて階級以上の出来。側款が名札的な収まりでしたので、本文の行取りから外れないよう。

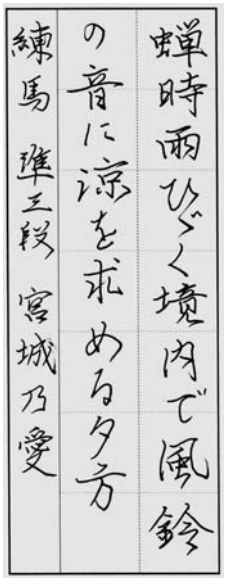


古典臨書部《課題C》

▽佐藤扇凰（中央・秀位）もう少し右上がりと、線の抑揚があれば更に佳かった。

審査・寸評担当者：菊池春苔（全部門）／福島一浩（かな部）／武川象濤（細字部）／菊池栖雲（教育部毛筆）
菊池苔鳳（ペン字部・教育部硬筆・條幅部行書体）／菊池苔雲（條幅部隷書体・古典臨書部・学生部）

ペン字部



ペン字部《規定・課題A》

▽宮城乃愛（練馬・準五段）
もう少し線の太細があれば申し分なし。

学生部

競書大賞





学生部《規定・課題D》

▽荒木栞凛（小友・準五段）
やや整い過ぎた感も否めないが、技法的にはマズマズ熟した。もう少し墨量があれば良かった。

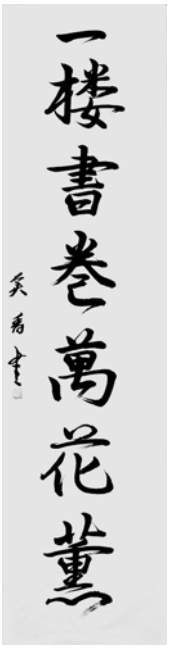
條幅部



▽中島州麗（埼玉・人位）
側款はもう少し縦に伸ばしたかった。本文はほぼ申し分なし。



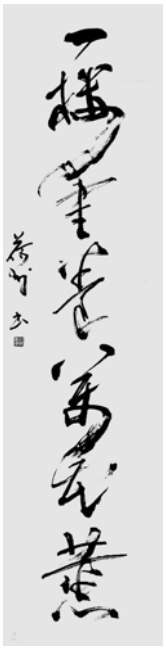
▽濱田春怜（中央・秀位）
側款は余りにも拙過ぎた。本文が良かっただけに惜しまれる。というか台無しにしてしまった。



▽及川美香子（中妻・佳位）
小縮まりした割に密度感に不足した。基本筆法はマズマズ。側難拙い。



▽播摩蘭粧（宮古・入選）
特に拙い所はなく、無難に熟した。その分、訴えかけや見応えが不足した。



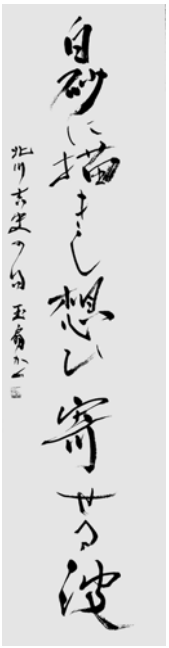
▽甘竹荷州（台・秀位）
やや硬いが、強い線が出ている。もう少し墨量が欲しかった。



▽松尾蓮佳（駒込・佳位）
出だし「一」は拙かったが、他は無難に収めた。



▽長澤佳玉（東京・秀位）
線がやや浅く感じなくもないが、造形・筆法等はきちんと熟されている。側款一考。



漢仮交文書部《條幅》

▽荒木玉扇（小友・入選）
読みやすくそれなりの表現もしている。墨量の変化が欲しかった。

特　待　生

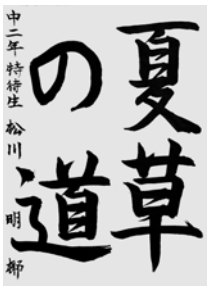

千葉愛菜美


和泉結空


川上仁愛

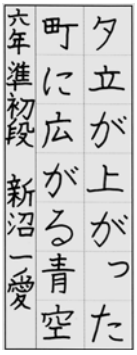

金野龍真


臼井碧海

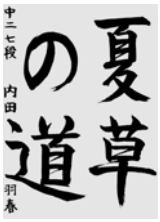

松川明椰

特待生は、本院認定の教育部最高位資格であり、その取り組み姿勢は他の生徒の範となり得るもので、作品は、書道研究月刊誌『墨州』に毎月掲載されます。特待生になる為には、年に１度の「特待生試験」に合格しなくてはなりません。「特待生試験」の受験有資格者である準八段以上は、全会員の約３％で、「特待生試験」の合格率は、過去10年間で平均43％です。

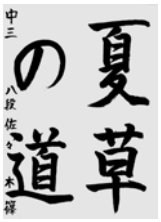
優　秀　作　品


新沼一愛


佐々木愛斗

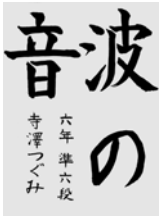

内田羽春


菅原麻友

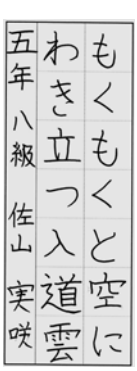

佐々木篠

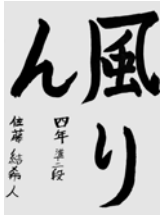

髙橋実世

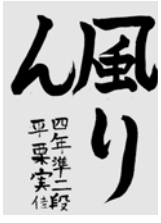

川原昂大

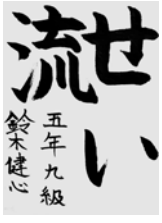

寺澤つぐみ

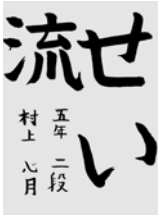

井上千嘉

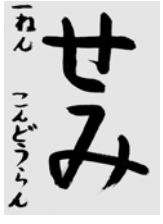

佐山実咲

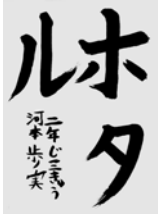

佐藤結希人

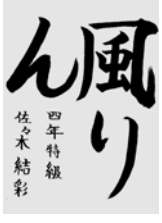

平栗実佳


鈴木健心


村上心月


近藤　蘭


河本歩実

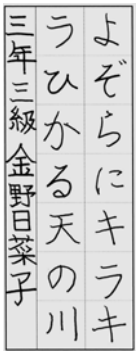

佐々木結彩


小笠原悠仁

競　書　大　賞



臼井友香（小友）



金野日菜子（中妻）

第582回（2026年８月10日締切課題）月例競書成績表

▼この名簿は、各部門の上位（教育部は高学年の高段級位）から順に掲載している。幼年には段級位制を導入しない。小学入学時に実力相当段級位に編入する。
各規定部は、それぞれ独立しているので注意すること。成績表の見方：㊅競書大賞(昇格)／☆特別昇格／◎写真版(昇級)／○昇級／◇優秀作品／㊐長期競書不出品再開／
※作品不備(没書扱い)。㊟昇格試験期間中は、該当部門（漢字部・教育部硬筆）の昇格はない。

漢字部

規定

【教授】
中央 佐藤 扇凰
府中 兒玉 春苑
駒込 眞壁 紅蓮
駒込 小松原 朴象
駒込 松尾 蓮佳
台 甘竹 荷州
横浜 佐藤 苔翠
本部 安細 華州
宮古 播摩 蘭粧
中央 髙橋 杏雲
中央 鈴木 紫雲

【十段】
埼玉 中島 州麗

【九段】
中央 佐藤 翠嶺

【準九段】
中央 及川 汀雲
中央 濱田 春怜
綾里 熊谷 信子

【八段】
小友◎佐々木 扇翠
小友 荒木 玉扇
東京 長澤 佳玉
中央 菅野 恵里

【準八段】
中央 菅原 夏子

【七段】
上山 佐々木 清美

【準七段】
横浜 竹森 翠霞

【準六段】
中井 千條 友菜
小友 古澤 愛子
中妻 及川 美香子

【五段】
横浜 工藤 琴迦
大阪 宮﨑 奈巳
青森 高橋 由佳
駒込 廣瀬 苺妃
中央 平田 睦子
駒込 岡安 祥蓮
高田 松田 由希菜

【準五段】
中央◇菊池 美里
埼玉 戸井田 さくら
足立 羽山 李岳

【四段】
矢巾◎村松 麻美
長谷 菊池 七実
広田 菅野 康剛
駒込 酒井 理法
綾里 佐藤 千枝子
一関 内田 与志之
盛岡 佐藤 睦
駒込 尾花 佑真

【準四段】
綾里 村上 サキ子
中央 吉田 優里

【三段】
中央◎伊藤 心優
練馬 齊藤 菜乃
光研 及川 倫美
小佐 佐々木 夢琉
中央 角地 桂子
中央 村上 智子
米崎 菅野 京子
千歳 森 眞紘

【準三段】
小佐 坂本 萌
小友 古澤 菜々美
綾里 佐藤 心

【二段】
小友 荒木 栞蓮
小友 荒木 栞凛
光研 佐々木 好枝
矢巾 武田 純奈
矢巾 門口 千鶴子

【準二段】
横浜 東垣外 真理子
米崎 菅野 千代
中央 野間 松子
中井 高橋 知佐

【初段】
花巻 槻舘 舞羽
駒込 加藤 舞
横浜 丸山 一枝
中央 千葉 幸治
中井 千葉 秀子

【準初段】
長谷◎千葉 愛菜美
矢巾 菅原 尚子
花巻 齊藤 晶
中妻 川上 仁愛
矢巾 菊池 香ゆり
横浜 西 外志子
横浜 荻田 祐子
中妻 和泉 結空
矢巾 矢吹 梨沙
高田 松田 穂乃実
中央 松川 明椰
小友 金富 香穂里
練馬 宮城 乃愛
光研 及川 明子

【特級】
光研 三浦 洋子

【1級】
駒込 遠田 怜唯

【準1級】
横浜 成清 盟子
小佐 岡野 美緒

【2級】
一関 伊藤 彩
横浜 金澤 清子
小友 石川 和歌子
横浜 岡田 民代
盛岡 髙橋 莉乃

【準2級】
小友◎臼井 碧海
横浜 菊池 愛里
小友 佐藤 博子
横浜 中島 文子
小友 近藤 真利子
中妻 金野 龍真
駒込 髙瀬 詩桜
中井 下村 幸子

【3級】
矢巾 矢吹 哲郎
台町 村上 清美
横浜 白石 香
台町 平山 理絵子

【準3級】
小友 上野 浩美

【4級】
中井 佐藤 泰生
花巻 内田 羽春

【準4級】
小佐 佐野 友悠
花巻 清水 咲愛
盛岡 浅沼 映
花巻 佐藤 倫

【5級】
府中 川崎 奈月
中央 門馬 大博
長谷 志田 明花
綾里 山岸 夏椰
矢巾 千葉 あかり

【新・5級編入】
広田 村上 那月

【準5級】
水夏 荒明 美香
横浜 山﨑 豊
台町 米田 滝子

【6級】
水夏◎國分 陽奈乃
台町 佐藤 美紀子
駒込 竹内 梨夏
横浜 大川 晶子
練馬 朝田 千尋
台 菊地 恵

【準6級】
綾里◎村上 芳春
光研 菊地 琢子

【7級】
駒込 久保 英
矢巾 渡部 亜由美
練馬 近藤 昭則
米崎 米澤 彩羽
矢巾 阿部 栞奈
中井 遠藤 新

【準7級】
中妻 伊藤 碧泉
聖花 山本 麻美
矢巾 山田 愛莉

【8級】
駒込◎富岡 詩織
綾里 石橋 爽
横浜 武石 かおり

【準8級】
府中 川合 祥子
横浜 市川 ゆかり
一関 小田 洋子
台町 紺野 敏子
矢巾 森岡 由加

【9級】
聖花 鈴木 亜由美
上山 張 韻萍
栄 斎藤 春花
福室 鈴木 慶一
横浜 長島 優子
米崎 細谷 心
米崎 佐藤 結希人
米崎 阿部 侑愛

【9級編入】
栄 田野内 祐太
矢巾 分枝 亜由美
綾里 山口 光子

行書体

【教授】
中央 佐藤 扇凰
駒込 眞壁 紅蓮
駒込 松尾 蓮佳
駒込 小松原 朴象
府中 兒玉 春苑
台 甘竹 荷州
横浜 佐藤 苔翠
宮古 播摩 蘭粧
本部 安細 華州
中央 髙橋 杏雲
中央 鈴木 紫雲

【十段】
埼玉 中島 州麗

【九段】
中央 佐藤 翠嶺

【準九段】
中央 濱田 春怜
綾里 熊谷 信子
中央 及川 汀雲

【八段】
小友 荒木 玉扇
小友 佐々木 扇翠
東京 長澤 佳玉
中央 菅野 恵里

【準八段】
中央 菅原 夏子

【七段】
上山 佐々木 清美

【準七段】
横浜 竹森 翠霞

【準六段】
小友 古澤 愛子
中井 千條 友菜
中妻 及川 美香子

【五段】
大阪 宮﨑 奈巳
中央 平田 睦子
駒込 廣瀬 苺妃
横浜 工藤 琴迦
青森 高橋 由佳
駒込 岡安 祥蓮
高田 松田 由希菜

【準五段】
埼玉 戸井田 さくら
中央 菊池 美里

【四段】
駒込 酒井 理法
長谷 菊池 七実
盛岡 佐藤 睦
駒込 尾花 佑真
綾里 佐藤 千枝子
広田 菅野 康剛
一関 内田 与志之
矢巾 村松 麻美

【準四段】
綾里 村上 サキ子
中央 吉田 優里

【三段】
練馬 齊藤 菜乃
光研 及川 倫美
中央 角地 桂子
中央 伊藤 心優
中央 村上 智子
米崎 菅野 京子
小佐 佐々木 夢琉
千歳 森 眞紘

【準三段】
小佐 坂本 萌
小友 古澤 菜々美
綾里 佐藤 心

【二段】
小友 荒木 栞凛
光研 佐々木 好枝
矢巾 武田 純奈
矢巾 門口 千鶴子

【準二段】
横浜 東垣外 真理子
中央 野間 松子
中井 高橋 知佐

【初段】
横浜 丸山 一枝
花巻 槻舘 舞羽
中央 千葉 幸治
中井 千葉 秀子

【準初段】
高田◎松田 穂乃実
矢巾 菊池 香ゆり
横浜 荻田 祐子
小友 金富 香穂里
中央 松川 明椰
横浜 西 外志子
花巻 齊藤 晶
中妻 川上 仁愛
矢巾 矢吹 梨沙
矢巾 菅原 尚子
光研 及川 明子
練馬 宮城 乃愛
長谷 千葉 愛菜美
中妻 和泉 結空

【特級】
光研 三浦 洋子

【準1級】
小佐 岡野 美緒
横浜 成清 盟子

【2級】
横浜 岡田 民代
横浜 金澤 清子
小友 石川 和歌子
一関 伊藤 彩
盛岡 髙橋 莉乃

【準2級】
横浜◎菊池 愛里
横浜 中島 文子
小友 近藤 真利子
小友 佐藤 博子
中妻 金野 龍真

【3級】
横浜 白石 香
台町 平山 理絵子
台町 村上 清美
矢巾 矢吹 哲郎

【準3級】
小友 上野 浩美

【4級】
中井 佐藤 泰生
花巻 内田 羽春

【準4級】
花巻 清水 咲愛
盛岡 浅沼 映
花巻 佐藤 倫

【5級】
中央 門馬 大博

【準5級】
矢巾 千葉 あかり
横浜 山﨑 豊
台町 米田 滝子

【6級】
台町 佐藤 美紀子
横浜 大川 晶子
駒込 竹内 梨夏
練馬 朝田 千尋
台 菊地 恵

【準6級】
綾里 村上 芳春

【7級】
練馬 近藤 昭則
矢巾 阿部 栞奈
矢巾 渡部 亜由美
中井 遠藤 新

【準7級】
中妻 伊藤 碧泉
矢巾 山田 愛莉

【準8級】
横浜 市川 ゆかり
台町 紺野 敏子
一関 小田 洋子
矢巾 森岡 由加

【9級】
上山 張 韻萍
栄 斎藤 春花
矢巾 分枝 亜由美

行草書体

【教授】
中央 佐藤 扇凰
宮古 播摩 蘭粧
横浜 佐藤 苔翠
府中 兒玉 春苑
駒込 松尾 蓮佳
台 甘竹 荷州
駒込 眞壁 紅蓮
駒込 小松原 朴象
中央 髙橋 杏雲
本部 安細 華州
中央 鈴木 紫雲

【十段】
埼玉 中島 州麗

【九段】
中央 佐藤 翠嶺

【準九段】
中央 及川 汀雲
綾里 熊谷 信子
中央 濱田 春怜

【八段】
東京 長澤 佳玉
小友 荒木 玉扇
小友 佐々木 扇翠
中央 菅野 恵里

【七段】
上山 佐々木 清美

【準七段】
横浜 竹森 翠霞

【準六段】
中妻◇及川 美香子
中井 千條 友菜
小友 古澤 愛子

【五段】
中央 平田 睦子
青森 高橋 由佳
駒込 廣瀬 苺妃
駒込 岡安 祥蓮
横浜 工藤 琴迦
高田 松田 由希菜

【準五段】
中央◎菊池 美里

【四段】
長谷 菊池 七実
駒込 尾花 佑真
駒込 酒井 りほ
盛岡 佐藤 睦
綾里 佐藤 千枝子
一関 内田 与志之
矢巾 村松 麻美
広田 菅野 康剛

【準四段】
綾里 村上 サキ子
中央 吉田 優里

【三段】
練馬 齊藤 菜乃
光研 及川 倫美
中央 伊藤 心優
千歳 森 眞紘

【準三段】
小佐 坂本 萌

【二段】
矢巾 武田 純奈

【初段】
花巻 槻舘 舞羽

【準初段】
練馬 宮城 乃愛
高田 松田 穂乃実
花巻 齊藤 晶

【2級】
横浜 岡田 民代
一関 伊藤 彩
盛岡 髙橋 莉乃

【3級】
横浜 白石 香

【4級】
中井 佐藤 泰生

【準5級】
横浜 山﨑 豊

【6級】
横浜 大川 晶子
駒込 竹内 梨夏

かな部規定

【教授】
駒込 松尾 蓮佳
駒込 眞壁 紅蓮
台 甘竹 荷州
中央 佐藤 扇凰

【師範】
駒込 小松原 朴象

【七段】
中央◎及川 汀雲

【六段】
東京 長澤 佳玉

【準六段】
中央 平田 睦子

【五段】
綾里 熊谷 信子

【四段】
小友 荒木 玉扇

【準三段】
小友 佐々木 扇翠

【初段】
小友 古澤 愛子

【特級】
米崎 菅野 京子

【1級】
米崎 菅野 千代

【4級】
綾里 村上 サキ子

【9級】
上山 張 韻萍
中央 菊池 美里

細字部規定

【教授】
駒込 松尾 蓮佳
中央 佐藤 扇凰
横浜 佐藤 苔翠
駒込 眞壁 紅蓮
台 甘竹 荷州
府中 兒玉 春苑
中央 鈴木 紫雲

【師範】
駒込 小松原 朴象

【準九段】
宮古 播摩 蘭粧
中央 及川 汀雲

【八段】
小友 佐々木 扇翠
中央 佐藤 翠嶺
綾里 熊谷 信子
中央 濱田 春怜

【準八段】
小友 荒木 玉扇

【六段】
横浜 竹森 翠霞

【準六段】
小友 古澤 愛子

【五段】
中央 平田 睦子
横浜 工藤 琴迦

【四段】
中央 村上 智子

【準四段】
中央 角地 桂子

【三段】
埼玉◎戸井田 さくら

【準三段】
横浜 荻田 祐子
小友 熊谷 奈津江
小友 古澤 菜々美

【二段】
綾里 佐藤 千枝子
小友 佐々木 依里

【準二段】
横浜 丸山 一枝
中央 野間 松子

【初段】
横浜 成清 盟子

【準初段】
米崎◎菅野 京子
一関 内田 与志之
光研 及川 明子

【1級】
中央◎今野 克之

【準1級】
光研 佐々木 好枝
米崎 菅野 千代

【2級】
横浜 白石 香
一関 伊藤 彩

【準2級】
小友 佐藤 博子
小友 荒木 栞蓮

【準3級】
小友 石川 和歌子
矢巾 矢吹 梨沙

【準4級】
台町 平山 理絵子
台町 村上 清美

【5級】
横浜○岡田 民代
台町 米田 滝子
小友 近藤 真利子

【6級】
小友○上野 浩美
横浜 吉井 ゆかり
中央 門馬 大博

【準6級】
聖花 阿部 順子
横浜 山﨑 豊

【準7級】
中井 千葉 秀子

【8級】
台町 佐藤 美紀子

【準8級】
聖花◎鈴木 亜由美
福室○鈴木 慶一
横浜 大川 晶子

【9級】
栄 斎藤 春香
一関 小田 洋子

【9級編入】
栄 田野内 祐太

條幅部

楷書体

【人位】
埼玉◎中島 州麗

【秀位】
中央◎濱田 春怜
中央 佐藤 扇凰
駒込 小松原 朴象
綾里 熊谷 信子
府中 兒玉 春苑

【佳位】
小友 佐々木 扇翠
駒込 眞壁 紅蓮
上山 佐々木 清美
台 甘竹 荷州
宮古 播摩 蘭粧
横浜 佐藤 苔翠
小友 荒木 玉扇
横浜 竹森 翠霞

【入選】
駒込 松尾 蓮佳
中央 及川 汀雲
中妻 及川 美香子
小友 古澤 愛子
東京 長澤 佳玉
横浜 岡田 民代
横浜 工藤 琴迦
練馬 宮城 乃愛
横浜 白石 香
中央 鈴木 紫雲
一関 内田 与志之
横浜 山﨑 豊
小友 古澤 菜々美

行書体

【人位】
埼玉 中島 州麗
中央 佐藤 扇凰

【秀位】
駒込 小松原 朴象
府中 兒玉 春苑
駒込 松尾 蓮佳
小友 佐々木 扇翠
小友 荒木 玉扇

【佳位】
中妻◎及川 美香子
中央 平田 睦子
台 甘竹 荷州
横浜 佐藤 苔翠
綾里 熊谷 信子
横浜 竹森 翠霞

【入選】
宮古◎播摩 蘭粧
中央 及川 汀雲
練馬 宮城 乃愛
綾里 佐藤 千枝子
一関 内田 与志之
横浜 工藤 琴迦
東京 長澤 佳玉
上山 細田 千賀子
小友 古澤 愛子
横浜 岡田 民代
横浜 山﨑 豊
横浜 白石 香
小友 古澤 菜々美
中央 鈴木 紫雲

行草書体

【秀位】
台◎甘竹 荷州
中央 佐藤 扇凰
府中 兒玉 春苑
東京 長澤 佳玉

【佳位】
駒込◎松尾 蓮佳
駒込 眞壁 紅蓮
綾里 熊谷 信子
駒込 小松原 朴象

【入選】
宮古 播摩 蘭粧
中央 及川 汀雲
横浜 佐藤 苔翠
横浜 工藤 琴迦
小友 佐々木 扇翠
横浜 竹森 翠霞
小友 荒木 玉扇
一関 内田 与志之
小友 古澤 愛子
練馬 宮城 乃愛
中妻 及川 美香子
中央 鈴木 紫雲

隷書体

【秀位】
東京◎長澤 佳玉

【佳位】
中央 佐藤 扇凰
小友 荒木 玉扇
駒込 小松原 朴象

【入選】
駒込 眞壁 紅蓮
上山 佐々木 清美
中央 鈴木 紫雲
横浜 工藤 琴迦

漢仮交文書部

半紙

【秀位】
台 甘竹 荷州

【佳位】
中央 佐藤 扇凰
駒込 眞壁 紅蓮
小友 荒木 玉扇

【入選】
駒込 松尾 蓮佳
小友 佐々木 扇翠
中央 濱田 春怜
綾里 熊谷 信子
綾里 佐藤 千枝子
綾里 村上 サキ子
上山 野澤 淑子

條幅

【秀位】
台 甘竹 荷州
中央 佐藤 扇凰

【佳位】
駒込 松尾 蓮佳
駒込 小松原 朴象

【入選】
小友◎荒木 玉扇
小友 佐々木 扇翠
綾里 村上 サキ子
中央 鈴木 紫雲
横浜 工藤 琴迦
小友 古澤 愛子

古典臨書部

半紙：C

【秀位】
中央◎佐藤 扇凰
綾里 熊谷 信子

【佳位】
小友 荒木 玉扇
横浜 佐藤 苔翠
小友 佐々木 扇翠
台 甘竹 荷州

【入選】
横浜 竹森 翠霞
横浜 工藤 琴迦
綾里 村上 サキ子
小友 古澤 愛子
綾里 佐藤 千枝子
盛岡 佐藤 睦
横浜 岡田 民代
小友 古澤 菜々美
小友 金富 香穂里

半紙：D

【秀位】
綾里 熊谷 信子

【佳位】
台 甘竹 荷州
横浜 竹森 翠霞
横浜 村上 サキ子
横浜 東垣外 真理子

【入選】
綾里 佐藤 千枝子
矢巾 菊池 香ゆり
横浜 工藤 琴迦
矢巾 佐藤 睦
横浜 大川 晶子
横浜 岡田 民代
横浜 白石 香

作品研究部

【秀位】
中央 佐藤 扇凰

【佳位】
駒込 松尾 蓮佳

【入選】
駒込 眞壁 紅蓮
中央 濱田 春怜

シニア講座

漢字部規定

【八段】上山◎細田千賀子
【初段】上山　野澤　淑子
【準初段】矢巾　平澤　久子
盛　千葉　尚

行書体

【八段】上山　細田千賀子
【初段】上山　野澤　淑子
【準初段】矢巾　平澤　久子
盛　千葉　尚

行草書体

【八段】上山　細田千賀子
【初段】上山　野澤　淑子

細字部規定

【六段】上山　細田千賀子
【1級】上山　野澤　淑子
【2級】光研　菅生るみ子
【準8級】矢巾　平澤　久子

ペン字部規定

【準4級】光研　菅生るみ子
【準8級】光研　藤原　りつ
【9級】広田◎鈴木タキ子

学生部規定

【六段】小友　荒木　栞蓮
【五段】小友㊋荒木　栞凜
【二段】練馬　宮城　乃愛
【初段】花巻　齊藤　晶
【準初段】花巻　槻舘　舞羽
【特級】中央　直井陽那乃
綾里　佐藤　心
【2級】小佐　佐野　友悠
中井　佐藤　泰生
【準2級】盛岡　高橋　莉乃

教育部毛筆規定

中学三年

【特待生】中妻◎川上　仁愛
中妻◎和泉　結空
長谷◎千葉愛菜美

中学二年

【特待生】小友◎臼井　碧海
中央◎松川　明椰
中妻◎金野　龍真

中学一年

【九段】中央　平山　咲夏
【準八段】小佐　遠藤　詩歩
【七段】鳴石　寺澤つぐみ
一関　千葉　愛美

小学六年

【十段】長谷◇志田　明花
【準八段】小友　及川　愛莉
【七段】中妻◎井上　千嘉
【準七段】中妻◇金野友梨子
【六段】福室　宮崎　千色
矢巾　廣田　敬美
【準六段】鳴石◎寺澤つぐみ
矢巾　村松　咲良
【五段】中央◎川原　昂大
小友　吉田　弥生
【準九段】花巻　弥生
【準八段】花巻◎内田　羽春
【準七段】花巻　佐藤　倫
盛岡　浅沼　映
広田　村上　那月
【六段】盛　古澤ひかり
花巻　清水　咲愛
【準六段】矢巾　千葉あかり
【五段】福室　菅原　健太
【準五段】小佐　小笠原矢絵
中井　遠藤　新
【三段】小佐　田中　瑠亜

小学五年

【七段】聖花　山家千結莉
【六段】福室◎佐々木愛斗
【準六段】横浜　禹　珍伊
【5段】米崎　黄川田大輔
【準五段】小佐◇佐野　心康
【三段】水夏　遠藤　彩寧
【準1級】聖花◎小林　里彩
【3級】聖花　相澤　奈々
【準3級】光研◎吉田　遥
【準4級】聖花　阿部雄一郎
【二段】広田◎村上　心月
小佐◇佐山　実咲
立根　北條　愛依
小佐　菊池　紗椰
小友　山下　千陽
【準二段】米崎　黄川田浩輔
矢巾　三浦　紀乃
【特級】横浜　吉野　有咲
花巻　角掛　隼大
【1級】矢巾　田畑　佑樹
矢巾　泡渕　愛莉
【準1級】小佐　岩間　羽叶
【5級】中井　菅野　綾音
【準8級】聖花◎鈴木　健心
【9級】中央　工藤　絢夏
【準四段】小友　池田　舞彩
中央　佐藤　圭悟
【準三段】小友◇佐々木結名
小佐◇平野　栞菜
【二段】米崎　熊谷　恵奈
小友　吉田　美月
横浜◎平栗　実佳
光研　小笠原　葵
【初段】光研　上野　栞
【準初段】小佐　照井　吏皇
小佐　岩間　百叶
小佐　及川　芽彩
【特級】中央　村上　楓真
【5級】中妻　大澤　七奈

小学四年

【八段】小友◇臼井　友香
【準五段】米崎　黄川田大輔
【七段】小友◇佐々木あこ
【準六段】聖花　小林　里彩
【準4級】聖花　阿部雄一郎
【3級】聖花　相澤　奈々
【準3級】光研◎吉田　遥
【準4級】聖花　阿部雄一郎
【二段】広田◎村上　心月
小佐◇佐山　実咲
立根　北條　愛依
小佐　菊池　紗椰
小友　山下　千陽
【準二段】米崎　黄川田浩輔
矢巾　三浦　紀乃
【特級】横浜　吉野　有咲
花巻　角掛　隼大
【1級】佑樹
矢巾　泡渕　愛莉
【準1級】小佐　岩間　羽叶
【5級】中井　菅野　綾音
【準8級】聖花◎鈴木　健心
【9級】中央　工藤　絢夏
【準四段】小友　池田　舞彩
中央　佐藤　圭悟
【準三段】小友◇佐々木結名
小佐◇平野　栞菜
【二段】米崎　熊谷　恵奈
小友　吉田　美月
横浜◎平栗　実佳
光研　上野　栞
【初段】光研　小笠原　葵
【準初段】小佐　照井　吏皇
小佐　岩間　百叶
小佐　及川　芽彩
【特級】中央　村上　楓真
【5級】中妻　大澤　七奈

小学三年

【準二段】小友◇熊谷　永輝
中妻◇金野日菜子
【準初段】中妻◎金野日菜子
聖花◎鈴木あやめ
【9級】中央　鈴木　隆心
【9級編入】矢巾　藤原　雪音
【新入】聖花　坂下　咲衣

小学二年

【準7級】盛岡　岩渕　蒼哉
【準8級】聖花◎鈴木あやめ
【9級】小佐◎近藤　蘭
小友◎吉田　優陽
【9級編入】中妻　土門　來奈

小学一年

【準7級】盛岡　岩渕　蒼哉
【準8級】聖花◎鈴木あやめ
【9級】小佐◎近藤　蘭
小友◎吉田　優陽
【9級編入】中央　鈴木　隆心
栄　板橋　ゆな

幼年

【9級編入】中妻　土門　來奈
一関　千田　芽郁

教育部硬筆規定

中学二年

【特待生】中妻　川上　仁愛
【七段】小佐　佐々木　篠
長谷　千葉愛菜美
【六段】中央◇平山　咲夏
【準六段】中妻◇和泉　結空
【三段】小佐　菊池　紗椰
【準三段】盛　高橋　蒼空
盛　互野　佑都
【二段】盛　鈴木　幸愛
【準初段】矢巾◇山田　愛莉
【準7級】中妻　伊藤　碧泉
【特待生】中央　松川　明椰
【準七段】小友　臼井　碧海
【六段】花巻　佐藤　倫
【準二段】中妻　金野　龍真

中学一年

【六段】中央◇平山　咲夏
【準四段】中央　村松　咲良
【三段】小佐　田中　瑠亜
【二段】中井　遠藤　新
矢巾　千葉あかり
【準二段】矢巾　千葉あかり
【準3級】中井　遠藤　新
盛　古澤ひかり
花巻　清水　咲愛
【準4級】一関　千葉　愛美
福室　佐々木愛斗
【準三段】小佐　佐野　心康
鳴石　遠藤　詩歩
【二段】横浜　禹　珍伊
花巻　佐々木穂月
【準三段】深山◇遠藤　未菜
【二段】小友　佐々木あこ
【準初段】綾里　山岸　夏椰
【特級】一関　小野寺結季
広田　村上　心月
【1級】小佐　菊池　紗椰
【準1級】聖花　相澤　奈々
【7級】聖花　阿部雄一郎
【準7級】聖花　小林　里彩
【6級】米崎　黄川田大輔
水夏　遠藤　彩寧
【準6級】光研　吉田　遥
【準6級】聖花　小林　里彩
【5級】小佐　岩間　羽叶
【準4級】小佐　照井　吏皇
【4級】盛　鈴木　幸愛
【準5級】盛　古澤ひかり
【準4級】盛岡　浅沼　映
【3級】小佐　菊池　笑里
【準3級】小友　及川　愛莉
【準三段】矢巾　村松　咲良
【二段】矢巾　廣田　敬美
中妻　金野友梨子
【準六段】中央　川原　昂大
矢巾　直井

小学六年

【準五段】長谷◇志田　明花
【準四段】福室◇宮崎　千色
中妻　井上　千嘉
鳴石　寺澤つぐみ
【三段】小佐　岩間　羽叶
矢巾　田畑　佑樹
【5級】矢巾　泡渕　愛莉
【準三段】小友　及川　愛莉
【準7級】聖花　相澤　奈々
【8級】聖花　阿部雄一郎
【準8級】聖花　小林　里彩
【7級】光研　吉田　遥
【準6級】聖花　小林　里彩
【6級】米崎　黄川田大輔
水夏　遠藤　彩寧
【準6級】小友　山下　千陽
立根　北條　愛依
矢巾　三浦　紀乃
【特級】小佐　菊池　紗椰
【準初級】綾里　佐藤　瑛心
広田　村上　心月
【1級】小友　臼井　友香
【準1級】中央　磯谷　莉空
【三段】中央　磯谷　莉空
【準三段】深山◇遠藤　未菜
【二段】小友　佐々木あこ
【準初段】綾里　山岸　夏椰
【特級】一関　小野寺結季
広田　村上　心月
【1級】小佐　菊池　紗椰
【準1級】聖花　相澤　奈々
【7級】聖花　阿部雄一郎
【準7級】聖花　小林　里彩
【6級】米崎　黄川田大輔
水夏　遠藤　彩寧
【準6級】光研　吉田　遥
【準6級】聖花　小林　里彩
【5級】小佐　岩間　羽叶
【準4級】小佐　照井　吏皇
【4級】盛　鈴木　幸愛
【準5級】盛　古澤ひかり
【準4級】盛岡　浅沼　映
【3級】小佐　菊池　笑里
【準3級】小友　及川　愛莉
【準三段】矢巾　村松　咲良
【二段】矢巾　廣田　敬美
中妻　金野友梨子
【準六段】中央　川原　昂大
矢巾　直井

小学五年

【五段】広田◇村上　那月
【四段】中妻　横山明香里
花巻　内田　羽春
【準四段】一関　菅原　麻友
花巻　清水　咲愛
【三段】小友　吉田　弥生
盛　古澤ひかり　映
盛岡　浅沼　映
小佐　小笠原矢絵
福室　菅原　健太
【二段】中井　遠藤　新
矢巾　千葉あかり
【準二段】矢巾　村上　楓真
小佐　田中　瑠亜
【準初段】綾里　米澤　彩羽
福室　日野　栞音
【特級】小佐　平野　栞菜
【準初段】小友　池田　舞彩
【1級】光研　小笠原　葵
小佐　岡田　梓紗
【準1級】小佐　四宮　結愛
小友　佐々木結名
【2級】米崎　熊谷　恵奈
矢巾　小笠原悠仁
光研　上野　栞
【準2級】小友　吉田　美月
横浜　平栗　実佳
米崎　佐藤結希人
【3級】米崎　佐藤　奏
【準3級】福室　赤間　惺太
矢巾　村松　澪
米崎　細谷　心
【4級】福室　菅原ひまり
【準4級】福室◇今野　慶次
【5級】矢巾　廣田　秀美
【6級】米崎　阿部　侑愛
【準6級】立根◇佐々木結彩
矢巾　千葉　陽仁
【7級】深山　菊池　琴葉
聖花　小林　果歩
【準7級】聖花　相澤　里奈
【8級】聖花　阿部圭一郎
中央　阿部　咲良
光研　門田　瑛史
福室　吉田　怜奈
中央　新沼　匠
【準8級】中妻　井上　千嘉
小友　及川　夏希
【9級】栄　斎藤　佑樹
中央　佐藤　圭悟
【9級編入】矢巾　藤原　雪音
【新入】聖花　坂下　咲衣

小学四年

【初段】小友　池田　舞彩
【準初段】小佐　平野　栞菜
【特級】光研　小笠原　葵
【1級】小佐　岡田　梓紗
【準1級】小佐　四宮　結愛
小友　佐々木結名
【2級】米崎　熊谷　恵奈
矢巾　小笠原悠仁
光研　上野　栞
【準2級】小友　吉田　美月
横浜　平栗　実佳
米崎　佐藤結希人
【3級】米崎　心　奏
【準3級】福室　赤間　惺太
矢巾　村松　澪
米崎　細谷　心
【4級】米崎　佐藤　奏
【準4級】福室　菅原ひまり
【5級】中央　今野　慶次
【6級】米崎　阿部　侑愛
【準6級】立根◇佐々木結彩
矢巾　千葉　陽仁
【7級】深山　菊池　琴葉
聖花　小林　果歩
【準7級】聖花　相澤　里奈
【8級】聖花　阿部圭一郎
中央　阿部　咲良
光研　門田　瑛史
福室　吉田　怜奈
中央　新沼　匠
【準8級】中妻　井上　千嘉
小友　及川　夏希
【9級】栄　斎藤　佑樹
中央　佐藤　圭悟
【9級編入】矢巾　藤原　雪音
【新入】聖花　坂下　咲衣

小学三年

【準1級】矢巾　菅原　夕楓

小学二年

【準2級】横浜　井上　晴
【3級】中妻◎金野日菜子
【準3級】中妻㊋金野日菜子
【4級】小友　熊谷　永輝
【準4級】小友　熊谷　永輝
【5級】矢巾　吹　理乃
中妻　齊藤　琉月
【準5級】矢巾　小山　美月
【6級】栄　河本　歩実
【準6級】栄　太田　彩織
【7級】矢巾　三浦　紫雲
中妻　木村　渚彩
栄　佐々木円楓
【9級編入】盛岡　中上　愛理

小学一年

【1級】立根　黒田　真悠
【準2級】福室　赤間　惺太
矢巾　廣田　秀美
中央　平田　睦子
【準五段】駒込　廣瀬　苺妃
【五段】小友　大野木友香
【準五段】小友　村上真理子
広田　菅野　康剛
【準四段】小友　古澤菜々美
横浜　成清　盟子
【三段】駒込　尾花　佑真
中央　吉田　優里
中井　千條　友菜
【準三段】横浜　長島　優子
矢巾　渡部亜由美
【二段】駒込　遠田　怜唯
中央　伊藤　心優
駒込　酒井　りほ
中井　千葉　秀子
【準初段】小友　佐々木依里
中央　熊谷帆乃花
栄　斎藤　春香
【9級編入】中央　鈴木　隆心
中央　板橋　ゆな

幼年

【9級編入】中妻　土門　來奈
一関　千田　芽郁
府中　兒玉　杏莉

ペン字部規定

【教授】駒込　松尾　蓮佳
中央　佐藤　扇鳳
台　甘竹　荷州
駒込　眞壁　紅蓮
【師範】横浜　佐藤　苔翠

小学一年

【準7級】盛岡　岩渕　蒼哉
【準8級】聖花◎鈴木あやめ
【9級】小佐◎近藤　蘭
小友◎吉田　優陽
【9級編入】中妻　土門　來奈

幼年

一関　千田　芽郁
府中　兒玉　杏莉
中妻　土門　來奈

教育部硬筆規定

中学二年

【特待生】中妻　川上　仁愛
【七段】小佐　佐々木　篠
長谷　千葉愛菜美
【六段】中央◇平山　咲夏
【準四段】中央　村松　咲良
【三段】小佐　田中　瑠亜
【二段】中井　遠藤　新
矢巾　千葉あかり
【準二段】矢巾　村上　楓真
小佐　田中　瑠亜
【準初段】綾里　米澤　彩羽
福室　日野　栞音
【特級】小佐　平野　栞菜
【準初段】小友　池田　舞彩
【1級】光研　小笠原　葵
小佐　岡田　梓紗
【準1級】小佐　四宮　結愛
小友　佐々木結名
【2級】米崎　熊谷　恵奈
矢巾　小笠原悠仁
光研　上野　栞
【準2級】小友　吉田　美月
横浜　平栗　実佳
米崎　佐藤結希人
【3級】米崎　心　奏
【準3級】福室　赤間　惺太
矢巾　村松　澪
米崎　細谷　心
【4級】米崎　佐藤　奏
【準4級】福室　菅原ひまり
【5級】中央　今野　慶次
【6級】米崎　阿部　侑愛
【準6級】立根◇佐々木結彩
矢巾　千葉　陽仁
【7級】深山　菊池　琴葉
聖花　小林　果歩
【準7級】聖花　相澤　里奈
【8級】聖花　阿部圭一郎
中央　阿部　咲良
光研　門田　瑛史
福室　吉田　怜奈
中央　新沼　匠
【準8級】中妻　井上　千嘉
小友　及川　夏希
【9級】栄　斎藤　佑樹
中央　佐藤　圭悟
【9級編入】矢巾　藤原　雪音
【新入】聖花　坂下　咲衣

小学一年

【準1級】矢巾　菅原　夕楓

小学二年

【準2級】横浜　井上　晴
【3級】中妻◎金野日菜子
【準3級】中妻㊋金野日菜子
【4級】小友　熊谷　永輝
【準4級】小友　熊谷　永輝
【5級】矢巾　吹　理乃
中妻　齊藤　琉月
【準5級】矢巾　小山　美月
【6級】栄　河本　歩実
【準6級】栄　太田　彩織
【7級】矢巾　三浦　紫雲
中妻　木村　渚彩
栄　佐々木円楓
【9級編入】盛岡　中上　愛理

小学一年

【1級】立根　黒田　真悠
【準2級】福室　赤間　惺太
矢巾　廣田　秀美
中央　平田　睦子
【準五段】駒込　廣瀬　苺妃
【五段】小友　大野木友香
【準五段】小友　村上真理子
広田　菅野　康剛
【準四段】小友　古澤菜々美
横浜　成清　盟子
【三段】駒込　尾花　佑真
中央　吉田　優里
中井　千條　友菜
【準三段】横浜　長島　優子
矢巾　渡部亜由美
【二段】駒込　遠田　怜唯
中央　伊藤　心優
駒込　酒井　りほ
中井　千葉　秀子
【準初段】小友　佐々木依里
中央　熊谷帆乃花
栄　斎藤　春香
【9級編入】中央　鈴木　隆心
中央　板橋　ゆな

幼年

【9級編入】中妻　土門　來奈
一関　千田　芽郁

ペン字部規定

【教授】駒込　松尾　蓮佳
中央　佐藤　扇鳳
台　甘竹　荷州
駒込　眞壁　紅蓮
【師範】横浜　佐藤　苔翠

小学一年

【準7級】盛岡　岩渕　蒼哉
【準8級】聖花◎鈴木あやめ
【9級】小佐◎近藤　蘭
小友◎吉田　優陽
【9級編入】中央　鈴木　隆心
栄　板橋　ゆな

幼年

一関　千田　芽郁
府中　兒玉　杏莉
中妻　土門　來奈

書道研究墨州院《当番審査・揮毫者》

審査・揮毫有資格者
安細華州・及川汀雲 兒玉春苑・小松原朴象 金野州紅・佐々木乾龍 佐藤翠嶺・佐藤扇凰 佐藤苔翠・鈴木紫雲 髙橋杏雲・眞壁紅蓮 松尾蓮佳・荒木玉扇 佐々木扇翠・中島州麗 濱田春怜・長澤佳玉 千條友菜・高橋由佳 松田由希菜・中山ありさ 岡安祥蓮・廣瀬苺妃 菊池美里・佐々木夢琉 吉田優里・伊藤心優 （2026.8月現在）
上記の審査・揮毫有資格者で出品数・稽古状況・出品状況を鑑み委嘱している。 当番制につき、有資格者全員に委嘱しているわけではない。

展覧会名	墨州院全国展	サン・リア書初展	墨州院書初展
審査日時	2026年11月2日(月) 10:30〜	2027年1月6日(水) 10:30〜	2027年1月26日(火) 10:30〜
審査会場	本部（中央書院）	本部（中央書院）	本部（中央書院）
荒木玉扇		揮毫	
及川汀雲	審査	揮毫	
菊池美里	揮毫		揮毫
小松原朴象			揮毫
佐々木扇翠	揮毫		
佐藤翠嶺			審査
佐藤扇凰	審査	揮毫	
鈴木紫雲		審査	
長澤佳玉			揮毫
濱田春怜	揮毫	審査	

資格取得にあたっては下記「書指導法特設科」を参照のこと。

書指導法特設科について

書指導法特設科は、手本揮毫法や指導理論を教授するもので、指導者に必要なことだけでなく、より専門的な技法習得や書道史の知識向上なども目指します。また、受講による切磋琢磨が実力向上へも繋がります。

会費	通稽会員3,000円（U23免除）／ 購読会員4,000円	
会場	岩手会場 （本部教室）	第3火曜日　10：00〜12：00 ※日時変更の場合もある。※希望者3名以上で別枠時間帯も検討
	東京会場 （駒込学園高校）	関東綜局講習会時（月1回開催）
	通信指導	書道研究墨州院事務局へ送付
	その他	要相談（希望者3名以上で検討）
指導内容	①添削（持参分）・講義 ⇒ ②稽古・実技指導（手本付）⇒ ③添削	
資格	・24単位…教士（三段以上の段位が条件） ・72単位…範士（五段以上の段位が条件） ・96単位…錬士（八段以上の段位が条件）	※1回の受講で取得単位2とする。 ※通信指導の場合は、1回の添削で取得単位1とし、添削後に再提出した場合は取得単位2とする。 ※単位取得を果たしても、（　）の条件を満たしていない場合、条件を満たした時点での認定とする。
その他	・資格取得者は、書道研究墨州院認定指導者として教場の開設が可能（要相談）。 ※指導者は、資格取得後も参加の義務有。 ・資格取得者には、必要に応じて書道研究月刊誌『墨州』の手本揮毫を委嘱する。 ・資格取得者には、必要に応じて書道研究墨州院関連行事の賞状揮毫を委嘱する。	

書壇の最高権威・最大規模・書を志す者の登竜門

第77回毎日書道展

日時：2026年７月19日(日)／東京・芝公園「ザ・プリンスパークタワー東京」

表彰式会場



表彰式（毎日賞）



第77回毎日書道展《一瀾書道会祝賀会》

日時：2026年７月19日(日)／東京・芝公園「東京プリンスホテル」





特別揮毫会

日時：2026年７月20日(月)／会場：東京・駒込学園高校



参与：金崎峰萃

- 「紙のまち資料館」元館長
- 英国王立芸術家協会元会員
- 書道パフォーマンス甲子園発起人



作品募集

大船渡市民芸術祭

■ 会　　期 ■

10月24日(土)～26日(月)

■ 会　　場 ■

大船渡市民文化会館『リアスホール』

■ 出 品 料 ■

無　料

■ 出品資格 ■

岩手県在住者

■ 課　　題 ■

【一般部】全国展・東京展・気仙書友会展などの表装作品

【学生部・教育部】五百枝展または競書課題（９/10または10/10締切課題）

■ そ の 他 ■

- 出品者全員の作品が展示されます。
- 賞はありません。

おがつ学生展

■ 会　　期 ■

12月13日(日)～１月15日(金)

■ 会　　場 ■

宮城県石巻市『道の駅 硯上の里おがつ』

■ 出 品 料 ■

無　料

■ 出品資格 ■

全国の学生

■ 課　　題 ■

【学生部・教育部】五百枝展または競書課題（９/10または10/10締切課題）

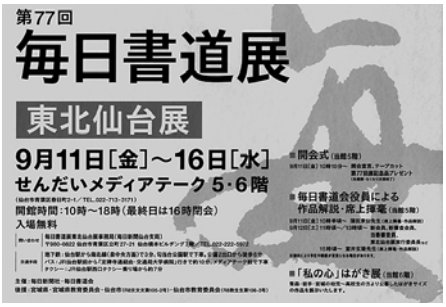
■ そ の 他 ■

- 出品一覧票に必ず学校名を記入してください。
- 賞状があります。上位入賞者は簡易軸装。
- 入賞以上のみが展示されます。

第77回毎日書道展《東北仙台展》

■会場：宮城県仙台市「せんだいメディアテーク」

■日時：９月11日（金）～16日（水）



菊池春苔席上揮毫会



日時：2026年９月12日(土)13：00～（予定）

第77回毎日書道展において、運営委員・漢字部審査副部長を務める菊池春苔の席上揮毫会が開催されます!!

（観覧無料）

墨州院全国展《錬成会》

■会場：大船渡地区公民館１Ｆ「講堂」

■日時：10月４日（日）10：00～16：00

※途中入退場自由

※昼食は各自で手配すること

■経費：無料（全国展出品者のみ）

※事前に墨州院全国展出品票にて出欠を記入のこと。



指導：菊池春苔

墨

～流派を超え自由な書の表現を求めて～

墨州院第40回記念東京展

州

テーマ：『不惑の…』

◆会　期：2027. 2 . 1（MON）～ 7（SUN）
11:00 ～ 18:30
（1日 14:00開館／7日 16:00閉館）

◆会　場：東京・銀座『ギャラリー向日葵（ひまわり）』

◆主　催：書道研究 墨州院（ぼくしゅういん）

◆後　援：毎日新聞社・(一財)毎日書道会
一瀾書道会（いちらん）（依頼中含む）



東京・銀座『ギャラリー向日葵』メイン壁面

◆作品内容：書道芸術作品・書を主体とした墨画

◆作品規定：額装＝全紙縦 1 / 3（縦）・半折 1 / 2（縦横自由）
半折 1 / 3（縦横自由）・他小品（縦横自由）
軸装＝尺八屏 1 / 4（縦）・半折 1 / 2（縦）・半折 1 / 3（縦）
※特殊形式・貸額・他のサイズは要問合

◆締　　切：2026年11月22日（日）17:00
※作品に出品票を添付（出品申し込みは10月末日までに経費を添付のこと）

◆経　　費：35,000円（2点出品 50,000円）／ U23　25,000円
※特別出品 50,000円（賛助待遇）
※軸装希望：希望者は予価 16,500円（作品規格：軸装寸法参照）
※出品作品は額装で、別途の軸装希望も受付可

◆運営役員
○主　　宰：菊池春苔　　○主宰代行：菊池苔雲
○代　　表：佐々木乾龍　　○副 代 表：眞壁紅蓮
○事 務 局：菊池苔鳳　　○実行委員長：羽山李岳
○運営委員：佐藤苔翠・兒玉春苑・松尾蓮佳
小松原朴象・中島州麗・長澤佳玉
※いずれも 9 月 1 日現在

書道研究 墨州院（ぼくしゅういん）
〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町新田44-15
TEL＆FAX 0192-27-3406

－書道研究墨州院－

インフォメーション

創始者



菊池海雲

主宰・会長



菊池春苔

書道研究墨州院は、1946年創立の菊池苔雲書道院を前進に「流派に固執しない・古法を伝承する・新風も大いに導入していく、実力・実績の純正書道」を提唱し、80周年を迎えました。また、1978年４月に創刊した書道研究月刊誌『墨州』は、49年を迎えました。これまで幾多の困難がありましたが、いかなる事業の中止や月刊誌の欠号もすることなく現在を迎えておりますことは最大の誇りでもあります。これも書道研究墨州院に集う会員皆様や関係各位のご支援ご協力あってこそのことでもあります。

購読案内

購読されると競書出品活動・書展出品活動ができます。
誌　代　１年購読 7,200円（送料 3,000円）
　　半年購読 3,600円（送料 1,500円）
※送料は送付希望の場合に限る。
※支部としてまとめての購読には割引がありますので問い合わせのこと。
※納入後の誌代・送料は返却しません。配本で代えます。

他部門への編入

本院で一般部段級位認定を受けたのち、他部門へ挑戦する場合は「新入」を経ずに「９級」から始められます。教育部会員が一般部（漢字部・ペン字部）へ出品する場合、下記の通り編入されます。
特待生・特待生候補⇒３級　**高段位（五段以上）**⇒５級
段位（五段まで）⇒７級　**級位**⇒９級

新規個人会員転入制度

新規個人会員で他団体から転入（移籍）希望の場合、転入審査により実力相当位から始められます。
※転入審査を受験されない場合は「新入」から始まります。
一般部転入審査料（十段まで）　5,000円
一般部転入審査料（五段まで）　3,000円
教育部・学生部転入審査料（段位以上）　2,000円
教育部・学生部転入審査料（級位まで）　1,500円
※段級位が証明できるもの（競書誌や合格證等）と該当部門の本院競書課題を添えること。
※支部としての転入の詳細は別途問い合わせのこと。

認定證交付規定

認定證（Ｂ３判）の交付希望者は姓号名・段級位を明記の上、交付料を添えてお申し込みください。
認定證　5,000円
認定證（額装）　10,000円
※送付をご希望の場合は送料が別途掛かります。

通塾部

入会金　一般部 2,000円（高校生以上）
　　教育部 1,000円（中学生まで）
会　費　地域・指導者によって異なる。
指　導　本院認定指導者

通信部

入会金　一般部 2,000円（高校生以上）
　　教育部 1,000円（中学生まで）
添削料　半紙 300円／條幅 500円／ペン字 300円
※添削料はいずれも１回１種につき。
※添削期間は誌代期間と同一とする。
※返信用封筒（宛名明記・切手添付）を同封すること。
※全部門（手本付）の場合は通塾部会費に準ずる。

書指導法特設科

受講により指導者資格を取得できます。書の基本である古典臨書や書の歴史も学び、書活動の幅も広がります。
会　費　3,000円（添削・手本・稽古付）
会　場　岩手（大船渡）／東京（駒込）
指　導　主宰・会長菊池春苔
※指導者は資格取得後も受講の義務有。
※資格取得者には、審査当番・揮毫当番委嘱制度有。
※通信添削にも対応する。

関東綜局講習会

月１回程度開催する関東近郊会員への講習会です。
会　費　3,500円／回
会　場　東京（駒込）
指　導　主宰・会長菊池春苔

各種展覧会

墨州院全国展・墨州院東京展・五百枝書道展
毎日書道展・気仙書友会展・他

各種揮毫・公演応需

作品・題字・名入れ・書道パフォーマンス公演・他

教室・講師派遣先

～いつでも・どこでも・どなたでも～約50教室・稽古日時のネットワークにより、最寄りの、系列教室・通信教育で指導が受けられます。指導には、中央一流書壇作家・書道専門学校出身者・書指導法特設科修了者が当たります。他会からの移籍も、団体・個人問わず、スムーズな受け入れ態勢です。

岩　手	大船渡市（13教室）／陸前高田市（７教室）／釜石市（３教室）／盛岡市／矢巾町／花巻市／一関市／公立高（２校）
宮　城	仙台市（宮城野区２教室／若林区）
福　島	郡山市
埼　玉	上尾市
東　京	北新宿／西ヶ原／赤羽／駒込／神田／練馬／府中／私立大／公立高／私立高（２校）／公立中／私立中
神奈川	洋光台／磯子／港南
愛　媛	四国中央市

総合案内

書道研究　墨州院（ぼくしゅういん）　事務局
〒022-0002　岩手県大船渡市大船渡町新田44－15　TEL＆FAX　0192－27－3406
URL　http://bokushuin1946.crayonsite.com　メール　shodoubokushu@yahoo.co.jp
郵便振替口座　番号：02330－9－3537／名義：書道研究　墨州院　本部

HP